

青少年環境教育交流（SSP）セッション宣言

教訓から新たな挑戦へ 行動におけるグローバルコミュニケーション

この宣言は、日本、トルコ、アメリカから今回のエメックス10-メッドコースト2013 ジョイント会議に参加する機会を得、そこで学問的かつ文化的活動を経験した学生たちの総意です。私たちはこの会議に集い、言語その他の障壁を乗り越え、学生同士だけでなく、40カ国以上の会議の参加者達と交流を深めることができました。

新しい課題に対応するために過去の教訓を適用するという考え方は、挑戦的でもあり、安易でもありません。私たちは変化の時代の世代であり、技術は新たに付け加えられたものではなく、もはや私たちの生活の一部に組み込まれています。これらの技術は、人を自然から遠ざけるというよりは、人を自然により近づけるものであると信じています。しかし、現在ほんやりと見えかかっている課題に対して、新しい教訓を適用する方法を見つけることのできる有用な人材であるには、私たちは未熟だと感じています。このため私たちには指導者、教育者、お手本、そして先輩である皆さま方の支援が必要です。

まず、私たちは不断の意味あるコミュニケーションを必要としています。アイデアや情報を共有することの重要性に取って替わるものはありません。何故なら、まさにそれこそが私たちの決断や、さらには夢を現実のものとしてくれるものだからです。私たちは皆さま方が私たちと国際コミュニティのメンバーとの交流を促してくださることを望みます。この会議が私たちに教えてくれるのは、より広範なコミュニティの経験に目を向けずに環境問題にアプローチすることは愚かであるということです。それゆえに、皆さま方には私たちがそうした方法を学べるよう指導していただきたい。

私たちはまた、機会を必要としています。研究者の皆さま方には、研究者同士に限らず、できれば私たち若者との関わりも深めてください。技術的支援だけでなく、研究活動や実践的な経験にも私たちを関わらせてください。そうした機会を得ることで、私たちは生涯にわたる情熱、知識への渴望、持続可能な意欲などを持ち続けられるからです。

この会議で、専門家の皆さま方は、若者の誠実さを評価してくださいました。皆さま方の傍らで仕事をさせていただければ、私たちは新しい観点からのフィードバックを提供し、皆さま方を注意深く観察することによって多くを学ぶことができます。そうすれば、より具体的に私たち自身の将来像を形作ることができるはずです。

私たちは、科学者や教育者たちに、人とひとの生活の場のつながりの価値を認めていただきたいと願っています。私たちの多くは、そこに基本的なインスピレーションを感じて、環境分野へと導かれたのです。変化のための声を上げ続け、皆さま方の研究を真に世界の改善につながるものに向けてください。そして学生にもそのように教育してください。私たちは自然界に感銘を受け、驚かされました。皆さま方には、私たちも環境改善に貢献できるよう、また自然界における私たちの立場を理解できるよう指導していただきたい。

私たちからいろいろとお願いをするばかりでなく、大人としてのお手本である皆さま方からも要望を聞かせていただきたい。学生たちが自らチャレンジし、この変化する世界の多くの場面で、視野を広げていくことを期待してください。当たり前と思えるような答えを私たちが出したとしても受け取らないでください。私たちは若いかも知れませんが、私たちに対する期待は高く持っていただきたい。環境問題に取り組む時に、成功の可能性があるものと信じて取り組む私たちを支援してください。皆さま方がかつてそうであったように、私たちはまだ年齢とともに持つようになる偏見を持っていません。不可能と思えることにも挑戦させ、自らの能力を発見できるよう支援してください。

まさにこの会議のように、科学者、教育者、政策立案者、利害関係者、学生が一同に会し、お互いにとって実りのある行動ができれば、新しい課題に目が向けられ、解決策をきっと常に見つけられるでしょう。

トルコ共和国 マルマリス

2013年11月2日

(事務局仮訳)